

序論

忍術は、修道士によって作成された隠蔽の芸術である。その時、神道と仏教の支持者の間に矛盾があって、それは仏教の支持者の脱出の原因である。その後、忍術技術は武術と占星術を組み合わせた。忍者はその忍術を修行する者である。それから、敵の動きをスパイする大名によって使用された。

忍者は、用事を実行するとアクションをすることに、敵と正確でなければならない。しかし、映画の中で忍者について間違っただけのものがある。本論文では、映画「カムイ外伝」と「ゴエモン」の忍者の誤解について説明する。したがって、この論文では、「カムイ外伝とゴエモンにおける忍者の誤解の分析」と題しである。

本論

歴史によると、忍者は譜代相伝で術を身に付ける。それは三つのクラスに分ける。一つ目は下忍である。下忍は最初から忍術の訓練を受ける者だ。二つ目は中忍と言う者だ。中忍はあまり忍術の訓練を受けた者が、まだ使命で関わり合っていないものだ。最高のレベル忍者は上忍だ。上忍は鮮やかな忍者と言う者、大名は使用され忍者だ。女の忍者があれば、その名は「くノ一」と言う者である。くノ一は花魁に変装すると、情報をあつめる。

忍者の主な仕事は隠密する、人を殺める使命が少ないである。忍者は昼間時に変装する。変装中で忍者は敵の情報をあつめる、完璧な変装の形をやらなければならない。そうすることで、忍者が情報を集めることは誰もが気づかない。忍者は真夜中の使命を遂行するのに、忍び装束を着用する。忍び装束を使用と暗い夜に忍者が隠す。それで、忍者は夜の時、敵から物を盗むと隠密することができる。

「カムイ外伝」と「ゴエモン」では、歴史の中で書かれている忍者の概念と比較して間違いがある。忍者の知識が世代から世代へと受け継ぐ、しかし、「カムイ外伝」では、カムイが貧しいので、忍者になる。一方、「ゴエモン」の映画によってゴエモンが織田信長によって収集され、服部半蔵から訓練を受けた。映画の中で誤解が常に殺す忍者の主な仕事である。はっきりと見える。これらの映画の両方では忍者が常に刀で殺している。実際には、主なタスクは、敵にスパイである。

結論

本研究の結果から以下の結果が見つかった：

映画では忍者の概念は間違いがある。それはミメシスと言う、真似る事だ。

この部分はミメシスとクリエイティビティーを組み合わせ、忍者の概念は変

化する事になった。最初は、忍者の主な仕事は隠密で敵の動きを探ることである。忍者の概念は科学の発達により少しずつ変化していく。ですから映画の中で、新しいの忍者の概念の誤解がある。

DAFTAR ISI

KATA PENGANTAR	i
----------------------	---

DAFTAR ISI	iii
------------------	-----

BAB I PENDAHULUAN

1. 1 Latar Belakang Masalah	1
1. 2 Pembatasan Masalah	5
1. 3 Tujuan Penelitian	6
1. 4 Metode Penelitian	6
1. 5 Organisasi Penulisan	8

BAB II NINJA

2. 1 Sejarah Ninja	10
2. 2 Organisasi Ninja	14
2. 3 Ninja Dalam Suatu Misi	16
2. 3. 1 Penampilan Ninja	17
2. 3. 2 Keahlian Ninja	21
2. 3. 3 Penggunaan Pion	27

BAB III MISKONSEPSI NINJA DALAM FILM KAMUI GAIDEN DAN
GOEMON

3.1	Organisasi Ninja	30
3.2	Pekerjaan Ninja	33
3.3	Penampilan Ninja	36
3.4	Keahlian Ninja	45

BAB IV KESIMPULAN 59

SINOPSIS v

DAFTAR PUSTAKA viii